

TOTO

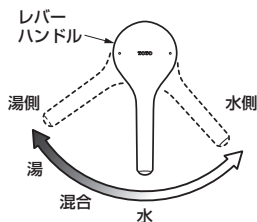
施工説明書

シングルレバーカートリッジ

THF55型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

温度調節の仕方



レバーハンドルを回す。

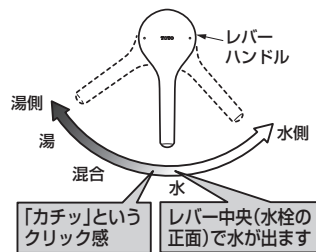
中央より右側に回すと水、左側へ回すと次第に温度が上がります。

エコシングル

本商品は「エコシングルカートリッジ」を搭載しています。よく使うレバー中央位置では水を吐水することで、気づかずに湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。(無駄なお湯やエネルギーを使わないための機能です)

お湯が必要な場合は、レバーハンドルを中央より左側に回してください。

水のみ位置、湯を使い始める位置をクリック感が教えてくれます。



1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

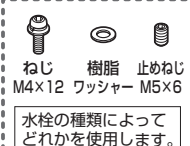


○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

2. 部品の確認



クリックユニット

※カートリッジおよびプッシュとバックシムは一体になっています。

※プッシュ ※外さないこと

※シングルレバーカートリッジ

※バックシム ※外さないこと

※台座

※バックシム ※外さないこと



クリックユニット

施工説明書

注意



分解禁止

カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない特殊組立をしておりますので、破損します。



必ず実行

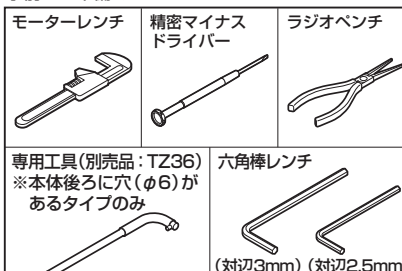
カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う。湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



閉める

3. 取り付け前に

カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。



※本体後ろに穴(φ6)があるタイプのみ

六角棒レンチ

(対辺3mm) (対辺2.5mm)

4-1. 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

対象品番	TKS05301型・TKS05303型・TKS05304型・TKS05305型・TKS05307型・TKS05308型・TKS05309型・TKS05310型・TKS05311型	TKS05302型・TKS05306型・TKS05312型
1 止水栓、または元栓を開める	湯側・水側の止水栓または元栓を確実に閉める。	
2 レバーハンドルの取り外し	<p>①レバーハンドル正面の化粧キャップを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> <p>②レバーハンドルを上げる。</p> <p>③化粧キャップを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。</p> <p>④レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p>	<p>①精密マイナスドライバーなどでレバーハンドル上部のキャップを取り外す。(切り欠き部に引っ掛ける)</p> <p>②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p> <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p>
3 カバーおよびクリックユニットの取り外し	<p>①カバー内側のリップをラジオペンチなどで挟んで上に引き抜く。</p> <p>②クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>

裏面へつづく

4 カートリッジ押さえの取り外し

①C型止め輪を上向きに取り外す。
②モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。

注意
本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売品: TZ36)で水栓が回らないようにしてゆるめてください。
水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

モーターレンチ
カートリッジ押さえ
ゆるめる
C型止め輪
取り外す
専用工具(別売品: TZ36)

モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。

モーターレンチ
カートリッジ押さえ
ゆるめる

5 カートリッジと台座の取り外し

①カートリッジと台座を取り外す。
②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。

注意
シート面を傷つけないようにしてください。

①カートリッジ
②シート面
古いパッキンが残っていれば取り除く
台座
本体
取り外す

6 新しいカートリッジのレバーの位置あわせ

新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。

正しい位置
くぼみ間の間隔が狭い所を上にする

ずれている
<レバーの方向>
<レバーの倒れ>

倒れている場合はレバーを動かし、正しい位置にあわせる。

くぼみ
レバー
カートリッジ

7 新しいカートリッジと台座の取り付け

①新しい台座(パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。
②新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)の下部の突起と台座シート面の穴をあわせて取り付ける。

台座
突起
本体
穴
取り付け
本体
突起
台座
穴
取り付け

8 カートリッジ押さえの取り付け

①モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。
②C型止め輪をカートリッジ押さえの溝に取り付ける。

注意
●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。
●本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売品: TZ36)で水栓が回らないようにして締め込んでください。
●C型止め輪の付け忘れにご注意ください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

カートリッジ押さえ
モーターレンチ
締め込む
専用工具(別売品: TZ36)
C型止め輪
取り付け
カートリッジ押さえの溝

モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。

モーターレンチ
カートリッジ押さえ
締め込む

9 新しいクリックユニットの位置あわせ

新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。

注意
必ず新しいクリックユニットを使用してください。

後ろから見た図
黒い部品の凹部がずれている場合は黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。

正しい位置
黒い部品の凹部と白い部品の凸部を右図のように揃える

ずれている
黒い部品の凹部
白い部品の凸部

白い部品の凸部

10 新しいクリックユニットおよびカバーの取り付け

①新しいクリックユニットを取り付ける。
②カバーを取り付ける。

新しいクリックユニット(黒い部品の凹部が後ろ)

後ろから見た図
クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。

正面
凹部

カバー
取り付け

新しいクリックユニット(黒い部品の凹部が後ろ)

後ろから見た図
クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。

正面
凹部

対象品番 TKS05301型・TKS05303型・TKS05304型・TKS05305型・TKS05307型・TKS05308型・TKS05309型・TKS05310型・TKS05311型

11 レバーハンドルの取り付け

①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。
②レバーハンドルを上げる。
③新しい止めねじを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で締め付ける。

注意
必ず新しい止めねじを使用してください。

化粧キャップを取り付ける。

レバーハンドル
差し込む
正面
上げる
六角棒レンチ(対辺2.5mm)
六角棒レンチの長い方を握って締め付ける
30~60度程度増し締めする。

TKS05302型・TKS05306型・TKS05312型

①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。
②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付ける。

注意
必ず新しいねじと樹脂ワッシャーを使用してください。

③キャップを取り付ける。

レバーハンドル
差し込む
正面
ねじ締め付ける
六角棒レンチ(対辺3mm)
樹脂ワッシャー
キャップ取り付ける

12 動作確認

①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。
②湯側・水側の止水栓および元栓を開ける。
③水漏れがないか確認する。
④止水栓で流量調節をする。

最適流量の目安
※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量7L/分(目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒)になるように止水栓で調節してください。
吐水切り替えタイプの場合は切替部を回して一本吐水にしてください。
※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量でない場合があります。